

# 抵

8画  
扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌 扌

はねる

**なりたち** 底の意味の氏(底)と、手を表したまとの会意形声字。底に手を「いたす(至る)とか、手を「当てる(当たる)とか、手を「触れる」という意味を表した字。



**いみじゆく**  
▼当てる。当たる。  
▼借入金する時、担保として貸し主にさしだす物。【用例】家屋敷を抵当に入れる。  
▼ふれる。  
▼触れる。  
▼さわることがあること。【用例】今に抵当する行為。  
▼さからう。  
▼抵抗。  
① さからうこと。手向かうこと。  
② 作用する力に對して反対の向きに作用する力。  
③ 電気の流れを妨げる働き。

▼おおよそ。  
大抵：① おおよそ。大部分。【用例】大抵のことは知っている。  
② ひととおり。並々。(後に否定の言葉を伴う。)  
【用例】この仕事をするのは大抵ではない。  
③ 多分。【用例】大抵やって来るだろう。

# 邦

7画  
三 彳 邦 邦 邦

左へはらう

**なりたち** 草の盛んに茂ることを表したまど、邑(城)（時代によって「国」から「村」までの使い方がある。）の変形した下の会意形声字。邑の盛んになった「大きな国」という意味の字。



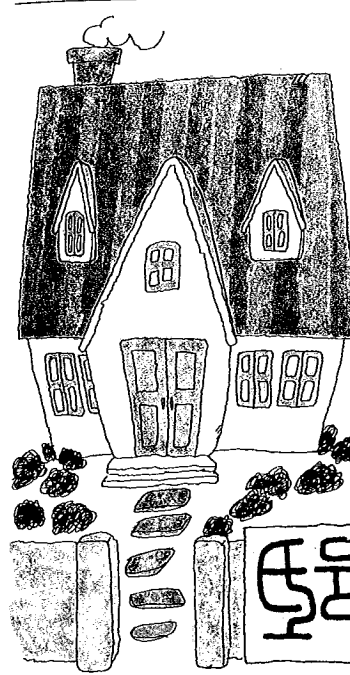
**いみじゆく**  
▼国。  
▼異邦：異国。外国。【用例】異邦人  
▼連邦：複数の国から成り立っている国家。【例】ソビエト連邦  
▼邦友：友好国。仲の良い関係にある国。  
▼本邦：我が国。日本。  
▼我が国：日本。  
▼邦楽：日本古来の音楽。【例】西洋楽  
▼邦画：① 日本映画。② 日本画。  
▼邦人：日本人。  
▼邦訳：外国語を日本語に翻訳すること。また、訳したもの。  
▼邦貨：日本のお金。  
▼よみかた 邦字・邦文

# 邸

8画  
宀 氏 氏 氏 氏 邸

はねる

**なりたち** 都の意味の卜と、抵(至る)の意味の氏(底)との会意形声字。「都に至る」という意味の字で、諸侯や地方長官が都に至った時に泊まる「宿舎」のことを表した字。転じて、貴族の「立派な住宅」の称。



**いみじゆく**  
▼都にある高位高官の住居。  
▼邸宅：高官の住居。【例】首相官邸  
▼公邸：特定の高級国家公務員の住居。  
▼立派な住宅。やしき。  
▼邸宅：立派な住宅。  
▼豪邸：豪華な邸宅。  
▼私邸：個人の邸宅。  
▼別邸：普段住んでいるのとは別の邸宅。  
▼御用邸：皇室の別邸。  
▼よみかた 邸内・旧邸

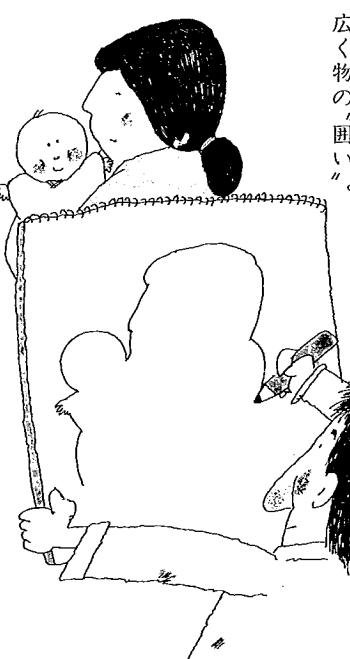
▼おおよそ。  
大抵：① おおよそ。大部分。【用例】大抵のことは知っている。  
② ひととおり。並々。(後に否定の言葉を伴う。)  
【用例】この仕事をするのは大抵ではない。  
③ 多分。【用例】大抵やって来るだろう。

# 郭

11画  
一 宀 亨 亨 亨 郭 郭

右へはらう

**なりたち** 都市の周囲に築いた城の形をかたどった亨と、邑(城)（土地を表した口と、人を表した巴との会意字で「人の住む土地」を表した字）の変形した下の会意形声字。「都市の外圍いくるわ」。転じて、広く物の「圍い」。



**いみじゆく**  
▼都市の外圍い。くるわ。  
▼城郭：城の圍い。  
▼圍い。物の外まわり。  
▼輪郭：①物を形づくっているまわりの線。②概要。大筋。  
▼外郭：①外の圍い。②周辺。(組織。)

# 邦郭